

徳富 32

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

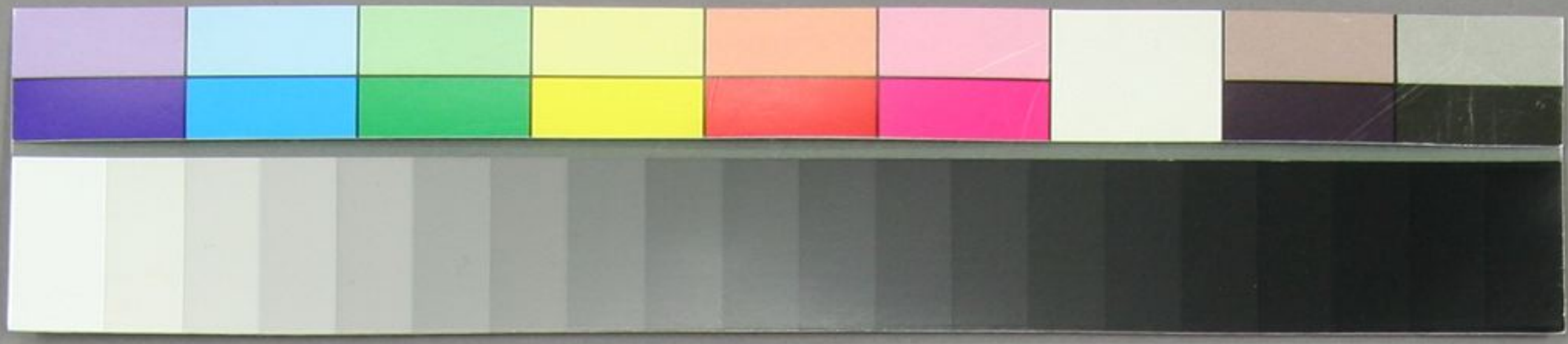
高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて

高野山に詣りて



の幸に保く必ら

不は之を致結乎

者了言のい上子

留留の

何卒此多忙中

存心共心け上

高配の能々

幸甚

害に友人中

御是申し

止め小者も有之

迷或る不燃

本節漸外所思

費徴之改

清取乞も有之

希高前様美は

交書も有之且つ

に英園のあし加前

此のよし

土部：漸次所思
費徴之改より存心

清股乞古有之

帝高前採美は

交者も有之且つ

に英國におも加筋は

此のとしは格介は

即ち交者も有之

中より交者能^道た

に在る間も高純の

伴に是れも真なる

物なるに有る

四月五日

徳海

大隈侯閣下